

大豆・麦の生育と管理

令和4年11月号
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化班

大豆

◎汚損粒対策

大豆は規格外になると、数量払の対象になりません。

規格外の原因の一つは汚損粒です。汚損粒は、収穫時の土や雑草等による汚れが原因になります。丁寧な収穫作業を心がけましょう。

次の4つのポイントを徹底しましょう！

①青立ち株や雑草の抜き取りの徹底

ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、汚損粒の原因になります。

収穫前に必ず手取り除草を行い、ほ場の外へ持ち出しましょう。

②土の掻き込みに注意

土の掻き込みは汚損粒を発生させます。刈取り高さの目安10cm以上を必ず守って下さい。

土を掻き込んだ場合には、すぐに清掃しましょう。

③収穫は露がない時間に！前日が雨の場合は収穫を控えましょう。

朝露や夜露は汚損粒の原因となります。露のない11時～16時に収穫しましょう。

④大豆の収穫適期～手で折るとポキッと折れる状態～

収穫適期は、茎水分50%以下、子実水分18%以下になる時期です。

この時期は、茎が灰黒色になり、莢を振るとカラカラと音が鳴り、地際部の茎が手でポキッと折れます。収穫時期が早いと茎汁等による汚損粒や損傷粒が発生するので注意をしましょう。



ヒユ類
(ノゲイトウ)



ホオズキ類

麦

◎排水対策 適期作業を行いやすく、湿害を防ぐために、排水対策がとても重要です。

・弾丸暗きよ 2～5mおき、30cmの深さで施工し、排水能力を高めましょう。

弾丸暗きよを額縁排水溝につなげれば、更に排水効果を高めることができます。

また、シートパイプや本暗きよと交差するように施工しましょう。

・額縁排水 圃場内の排水溝は水の落とし口に必ずつなげましょう。

◎播種直前耕起 耕起すると圃場が乾きにくく、播種適期を逃します。適期播種のために、播種直前に耕起しましょう。

◎種子消毒～斑葉病と黒穂病の防除～ 斑葉病、裸黒穂病は種子伝染性病害です。斑葉病では株の枯死、裸黒穂病は品質・収量低下をまねきますので、必ず種子消毒を行いましょう。

麦種	薬剤	適用病害虫名	使用量
大麦・裸麦	トリフミン水和剤	網斑病、斑葉病、裸黒穂病、なまぐさ黒穂病	乾燥種子重量の10kg 当たり50g
小麦	ベンレートTコート	条斑病、裸黒穂病、なまぐさ黒穂病	

※ラベル等をよく読んで使用しましょう

麦

◎土作り 酸度矯正～土壤診断で適切なpHに矯正～

麦は酸性土壤では、生育不良や黄化症状が発生しやすく収量が低下します。

最適なpH6.0～6.5にするために、土壤診断を行い苦土石灰等の土壤改良材を施用し適切な酸度矯正を行いましょう。

〈粘質～壤質土壤の資材施用量（10aあたり） 目標PH6.0～6.5〉

資材名	土壤のpH		
	<4.5	<5.0	<5.5
苦土石灰	240kg	140kg	70kg

*土壤診断により石灰質資材の投入量が300kg/10a以上になった場合は、数年に分けて施用しましょう。

◎施肥 肥料価格高騰のため、栽培暦の施肥基準を見直しました。
 〈施肥基準（10aあたり）〉

品種	肥料	基肥			分げつ肥	穂肥	実肥
		化成肥料 14-14-14	PKセーブ 488	麦一発エム コート556	化学肥料 16-0-16	硫安	
ニシノホシ				45kg (N:11kg)			
トヨノカゼ チクゴイズミ	40kg (N:5kg)	40kg (N:5kg)			15kg (N:2kg)	15kg (N:2kg)	
はるみずき	40kg (N:5kg)	40kg (N:5kg)			15kg (N:2kg)	30kg (N:5kg)	30kg (N:6kg)

※ Nは窒素成分量/10aを示します。

⑨ 有機物（完熟牛糞堆肥等）を投入するときは周辺に配慮し、なるべく早くすき込みましょう。

◎適期播種と播種の深さ

麦の最適播種時期は11月中下旬です。播種の深さは3cm程度が基本です。

極端な早播きは茎立ちが早くなり、凍霜害を受けやすくなり、粒の充実が不良となり品質が悪くなる場合があります。小麦の萎縮病、二条大麦の縞萎縮病のウイルス病発生も助長します。

遅播きは穂数が確保しにくくなり、収量の低下につながります。

◎雑草対策～播種直後と生育期の体系防除～

雑草対策は初期除草剤、生育期除草剤、土入れの体系防除を徹底しましょう。

薬剤名	使用時期	10aあたり使用量		使用方法
		薬量	希釈水量	
ラウンドアップ マックスロード	耕起前または播種前まで (雑草生育期)	200～500 ml	50～100 ℓ	雑草茎葉 散布
クリアターン 細粒剤F	播種直後 (雑草発生前)	4～5 kg	—	全面土壤 散布
キックボクサー 細粒剤F	播種直後 (雑草発生前)	3～4 kg	—	全面土壤 散布
リベレーター フロアブル	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～ イネ科雑草1葉期まで)	60～80 ml ※麦に対して白 斑症状を引き起 こす場合があり ます	100 ℓ	雑草茎葉 散布 または 全面土壤 散布

※ラベル等をよく読んで使用しましょう